

# 令和元年台風第15号及び第19号等に伴う防災対策の検証の概要

令和元年11月29日  
総務局

## 1 経緯

今年度、台風第15号、第19号等の影響により、都内でも相次いで風水害が発生

(主な被害等)

- ・ 暴風による電柱の倒壊や倒木による断線により、多くの地域で停電が発生
- ・ 家屋被害が多数発生。応急措置用のブルーシート・土のう袋の需要が急増
- ・ 洗掘による道路の崩落に伴い、断水や孤立化する地区が発生
- ・ 気象情報に応じた避難情報発令と風水害に対応した避難先確保の難しさ

## 2 検証経過

副知事をトップとして、「大規模風水害検証会議」を設置し、都の風水害対策について検証

(期間) 令和元年11月6日から11月28日まで

- (方法)
- ・ 各局等における課題の抽出・検証
  - ・ 各区市町村に対するヒアリング
  - ・ 都民向けインターネットアンケート調査
  - ・ 自衛隊等の関係機関からの意見集約

## 3 検証内容・結果

以下の7つの視点から、更なる強化を進めていく35の風水害対策を実施

### 視点

### 主な課題

### 主な対策内容

①初動体制の整備 被害状況等の円滑な情報共有、計画運休への対応

②防災広報 ダウンしないHP構築、様々なツールを用いた情報発信

③電源確保対策 スマートフォン等の充電環境整備、病院の機能維持

④物資調達 災害に応じた備蓄品目見直し、孤立地域への物資輸送

⑤避難対策 広域避難のあり方、風水害対応の避難先確保

⑥施設整備等 河川監視の強化、多摩川の樋門操作への対応

⑦その他の風水害対策 タワーマンション等の浸水対策、都営交通の防災対策

全区市町村にリエゾン派遣、計画運休時の出勤のあり方のルール化

区市町村向け改善ガイドライン、サーバの増強、チャットボット導入

一時滞在施設等に充電環境整備、停電時に有効な電源確保策の検討

ブルーシート等必要物資の事前確保、大型ドローンの実証実験

関係区市とのWGによる課題等の検討開始、都有施設を避難先に活用

浸水被害を踏まえた監視カメラの設置拡大、樋門の安全対策

マンション管理ガイドライン見直し、地下鉄駅出入口の対策強化

## 4 今後の対応

検証に基づき実施していく取組のうち、予算措置が必要な項目については、既に、補正予算に計上したものや、各局等において予算要求中のものがあるが、その他の項目を含め、早期の実施に向けた関係機関等との調整を進めていく。また、来年度、出水期前に、今回の検証結果の進捗状況について確認する。